

# 環境教育 「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

### PFAAS汚染

発がん性が指摘される有機化学素  
 化合物(PFAAS)による水の汚染が全国  
 で相次ぐ。入る血液からも検出され  
 住民の不安は切実である。  
 国や自治体は汚染源特定や拡  
 散防止策を急かねばならない。  
 PFAASは数千種類の化合物の  
 総称で、調理用品や半導体産  
 品などに幅広く利用されてきた。  
 長期間分解されず「永遠の化  
 学物質」とも呼ばれる。人体に  
 蓄積した場合、がんや子どもの



発育阻害  
 などとの関連  
 が指摘されて  
 いる。  
 国際条約によ  
 る規制が始ま  
 った二〇一九年以降  
 日本でも製造  
 禁止や在庫の  
 監視が進むか  
 と以前に上環  
 境部が地下水を通じ  
 て汚染がそれと  
 考えられる。



相模原市と隣接  
 の東京都町田市で  
 計二十五カ所の井戸水  
 や河川水を調査した  
 PFAASの濃度が国の  
 暫定指針値を超  
 えたのは八カ所。  
 検出濃度は最大で  
 指針値の六倍に達し  
 一部は集合住宅で飲  
 用水に使われていた。  
 全国には飲用井戸が  
 三カ八千カ所以上ある  
 とされるがPFAASの  
 検査はほとんど行われ  
 ていない。



高い濃度  
 を検出し  
 た集合住  
 宅のうち  
 一件では  
 管理会社  
 が今後公  
 共水道に  
 切り替え  
 ることを  
 決めた住  
 民に周知  
 した。

